

住宅改修が必要な理由書 P2

<P1の「住宅改修により、日常生活をどう変えたいか」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的困難な状況③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修のコメント(…すること…が改善できる)を記入してください。>

活動	①改善しようとしている生活動作	②①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修のコメント(…すること…が改善できる)を記入してください。	④改修項目(改修箇所)
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入 (扉の開閉含む) <input type="checkbox"/> 便器への着座・車いす 等からの移乗 <input type="checkbox"/> 衣類の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢	<p>生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護案の検討の際は全ての行為についてチェックが必要だが、理由書では改善しようとする行為に限定したコメントでよい。 生活のどの場面、どの動作が利用者・介護者にとって大変なのか、動作の流れに沿って一つずつ見極めること。寝たきりならば「座位が保てるか」、歩行ができれば「段差を超えられるか」などについても記入する。 ①のレ点評価と②のコメントの両方を合わせて利用者の状況が伝わるようにする。 移動について各行為(排泄・入浴・外出)に共通する内容は、たとえば「排泄」の欄のみに記入し、各行為の欄に重複して記入する必要はない。 	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 手すりの設置 () () () <input type="checkbox"/> 様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目をチェックし、詳細な内容を記述する。 <input type="checkbox"/> 改修箇所は場所だけではなく「手すり」なら、「便器横壁面」等その取り付け位置も記述する。
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入 (扉の開閉含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 便器の取替え () () <input type="checkbox"/> 滑り防止等のための床材の変更 () ()
その他の活動			<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他 () () () ()

現状の改善を必要とする動作についてレ点チェックをする。今回改修の対象でない項目にはレ点チェックしない。

生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。

①②を記入し、現状の問題点をふまえた上で、改修目的の項目をチェックする。各行為の困難事項を改善するために、どのような改修を行うのか、その方針を記述する。

改善方法は「手すり位置」や「段差解消」という表現でなくてもよい。「つかまれる所を」「つまずかない工夫」「立ち上がりの支えを」などの表現でも良い。

一つの改修が複数の目的のために行われる場合はまとめて記述してよい。

様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目をチェックし、詳細な内容を記述する。

改修箇所は場所だけではなく「手すり」なら、「便器横壁面」等その取り付け位置も記述する。